

総会・研修会報告

第27回・日本白鳥の会研修会

研修会は、2003年4月19日(土)に北海道枝幸郡浜頓別町クッチャロ湖畔の浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館で行われました。

会長、松井名誉会長の挨拶の後、広瀬忠雄・浜頓別町長と加藤智裕・浜頓別白鳥の会会長の祝辞をいただき、続いて以下の研究発表が行われました。

谷岡 隆 (北海道) : 最北のマガン越冬地 静内での観察記録

松林拓大 (青森県) : 間木堤における白鳥飛来数の推移及び環境創造へのとりくみ

吉田敬直 (北海道) : 稚内大沼のハクチョウについて

松村 勝 (滋賀県) : 第3回世界水フォーラム in 滋賀に参加して

山内 昇 (北海道) : クッチャロ湖近況

研究発表を終えたあとは、宿舎のはまとんべつ温泉ウイングに移動し、懇親会・自由交流・懇談会となりました。懇親会の後は、深夜まで自由交流会がつづいたようでした。

なお、猪苗代町の鬼多見賢さんからは、「種まきの真っ盛りであり特に区長をおおせつかかり多忙な毎日」のためということで総会・研修会には欠席されましたが、名物「あげまんじゅう」をお送りいただきました。また、参加者全員に山口恵子さ



総会終了後に浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館前での記念撮影

んから「夢の白鳥」の歌が吹き込まれたカセットテープがプレゼントされました(歌詞はこのページにあります。研修会に参加できなかった会員のために、楽譜を本誌に掲載したかったのですが、残念ながらいただくことができませんでした)。この場をかりてお礼申し上げます。

第31回・日本白鳥の会総会

第31回日本白鳥の会総会は、研修会の翌日4月20日(日)に北海道枝幸郡浜頓別町クツチャロ湖畔のはまとんべつ温泉ウイングで開催されました。今回は平成14年度の総会でしたが、開催地の浜頓別でのハクチョウ観察適期を考慮し、平成15年度になってからの開催となりました。出席者は 人でした。

会長挨拶の後、議事次第にしたがって報告・議決がおこなわれました。なお、上述のように、総会開催時期がずれ、平成13年度の総会が年度内に開催できなかったため、今回は平成13、14両年度の報告となりました。

総会終了後は、浜頓別クツチャロ湖水鳥観察館周辺でコハクチョウを観察し、地元側で用意していただいたおにぎりとお茶をいただき、その後は自由解散となりました。

平成13年度事業報告

- 平成13年4月1日 白鳥ニュースNo. 19発行。内容は「福島県福島市の第29回総会及び第25回研修会など」
- 10月5日 第30回日本白鳥の会総会及び第26回日本白鳥の会研修会「滋賀県湖北町・湖北野鳥センター」開催案内送付
- 10月15日 調査協力者へ定時定点調査表配布
- 11月19日 会誌「日本の白鳥」第25号発行

夢の白鳥

しばらくだったね白鳥たち
待っていましたためぐり逢える日を
親鳥小鳥仲間たち
みんな元気でいいですね
はるかな旅路は大変だったでしょう
ゆっくりゆっくり休んで下さいね
温もり豊かな日本の故里で
雪解け川の水ゆるんで
風がやさしく街に吹く頃に
海越え遠い故郷へ
みんな仲よく帰るのね
淋しくなりますあなた居ない日は
旅立つ時までやさしく下さいね
夢見て待ちますふたたび逢える日を
帰ってきてよね日本の故里へ
夢見て待ちます面影抱きしめて
旅立つ時まで安らぎ下さいね
忘れないでねいま住む故里を
旅立つ時まで微笑下さいね
夢見て待ちますまた逢う日まで

12月1～2日 第30回日本白鳥の会総会及び第26回日本白鳥の会研修会

「滋賀県湖北町・湖北野鳥センター」開催。研修会では、澁谷辰生：厚岸湖・別寒辺牛湿原におけるオオハクチョウの大量死～餌付け問題にみる人間の生物観と環境行政～、角田分：最上川河口白鳥飛来数日本一のわけ、神谷要：レナデルタにおけるコハクチョウの首輪標識、松村勝：環境ボランティア・草津湖岸コハクチョウを愛する会の活動、堀野善博：琵琶湖西岸のコハクチョウ、仁科久雄・石井光弘：滋賀県湖北町に飛来するコハクチョウの発表があった。

総会では、平成12年度決算及び事業報告が原案どおり承認された。平成13年度予算（案）及び事業計画（案）も原案どおり承認された。総会・研修会の同時開催について、再度確認されたが、東京での勉強会を開催してはどうかとの意見が出された。

一部役員の変更等が行われた。北海道の山内昇理事が名誉会員へ、理事不在の山形県から、角田分氏が新理事へ、北海道小清水町の玉田誠理事のご逝去に伴い、同町の更科智司氏が新理事へ、青森県の蝦名猛義理事が本人の希望により、理事辞任。

次期総会・研修会について、平成14年度の総会・研修会を平成15年4月に北海道浜頓別町クツチャロ湖で開催することとなった。このため、平成14年度の予算と事業計画については、会長と事務局に一任された。また、平成15年度の総会・研修会については、平成16年1月に茨城県北浦で開催予定となり、この他の候補地として北海道厚岸町、青森県平内町などが挙げられた。なお、詳しくは、「日本の白鳥」26号を参照のこと。

12月20日 北陸電力株式会社へ「コハクチョウの高圧線衝突死対策に関する」要望書を提出。

平成14年度事業報告

- 平成14年4月10日 白鳥ニュースNo. 20発行。内容は「滋賀県湖北町の第30回総会及び第26回研修会、新潟ラムサールシンポジウムIIなど」白鳥飛来地目録アンケート送付。
- 11月1日 会誌「日本の白鳥」第26号発行
- 12月5日 調査協力者へ定時定点調査表配布
- 平成15年2月20日 第31回日本白鳥の会総会及び第27回日本白鳥の会研修会「北海道浜頓別町クツチャロ湖」開催案内送付
- 2月25日 エムアンドディー・グリーンエネルギー（株）へ風力発電導入についての意見書送付

平成13年度収支決算報告

平成13年度収支決算書

| 収入 | | | |
|-------|-----------|---------|----|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 会費 | 600,000 | 384,000 | |
| 寄付 | 30,000 | 19,180 | |
| 前年度繰越 | 456,583 | 456,583 | |
| 計 | 1,086,583 | 859,763 | |

| 支出 | | | |
|-------|-----------|---------|-------------|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 印刷事務費 | 200,000 | 141,750 | 会誌印刷 |
| 通信費 | 109,100 | 77,990 | 事務連絡, 定点等 |
| 消耗品費 | 10,000 | 2,940 | 封筒等 |
| 負担金 | 100,000 | 100,000 | 国際湿地連合日本委員会 |
| 会議費 | 100,000 | 100,000 | 湖北町研修会負担 |
| 予備費 | 567,483 | 18,292 | 手数料・弔電など |
| 計 | 1,086,583 | 440,972 | |

859,763円(収入)－440,972円(支出)=418,791円(次年度繰越)

会計監査

会計監査の結果、正に相違ないことを認めます

監事 山崎 安紀 ㊟

監事 星子 廉彰 ㊟

平成14年度収支決算報告

平成14年度収支決算書

| 収入 | | | |
|-------|-----------|-----------|----|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 会費 | 700,000 | 668,000 | |
| 寄付 | 20,000 | 20,500 | |
| 前年度繰越 | 418,791 | 418,791 | |
| 計 | 1,138,791 | 1,107,291 | |

| 支出 | | | |
|-------|-----------|---------|-------------|
| 項目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
| 印刷事務費 | 200,000 | 181,440 | 会誌印刷 |
| 通信費 | 100,000 | 89,020 | 事務連絡, 定点等 |
| 消耗品費 | 10,000 | 12,369 | 封筒等 |
| 負担金 | 100,000 | 100,000 | 国際湿地連合日本委員会 |
| 会議費 | 0 | 0 | |
| 予備費 | 728,791 | 1,680 | 手数料 |
| 計 | 1,138,791 | 384,509 | |

1,107,291円(収入)－384,509円(支出)＝722,782円(次年度繰越)

会計監査

会計監査の結果、正に相違ないことを認めます

監事 山崎 安紀 ㊟
監事 星子 廉彰 ㊟

研修会参加者

会員：松井繁、藤巻裕蔵、山内昇、小西敢、星子廉彰、谷岡隆、根津京子、渋谷辰生、吉田敬直、蛭名純一、古川博、松林拓大、蛭名忠明、小原宏、小原瑠美子、高橋好男、三浦研一、八木博、佐久間拓城、菊池昶史、斉藤豊、武藤百合子、遠山敏子、肥田嘉昭、清水幸男、松村勝、山本均、大川節夫、村本禎子、村本正治。

地元関係者：広瀬忠男、油矢憲二、淡路正智、加藤智裕、鈴木芳孝、上西芳信、伊藤洋一、山内啓一、平沢光子。

日本白鳥の会のホームページが開設されました。活用するとともに大いに宣伝してください。

アドレスは <http://www.jswan.jp> です。